

# 12月の職員オススメ本



「子どもといっしょが楽しい おうち歳時記」  
季節の遊びを楽しむ会／著 メイツ出版

1月～12月のにっぽん行事を楽しむための本になっています。その月に合った伝統的な遊びや料理のレシピ、行事にまつわる工作などがわかりやすく紹介されています。おうちで気軽にできることばかりで、大人が読んでいても楽しく、学べる1冊です。

新しい1年を始める前に、読んでみませんか？



「神さまショッピング」 角田 光代／著 新潮社

美津紀は書店で「世界の神さま一覧」という背表紙の本に引かれ斜め読みすると、スリランカ南部、カタラガマ神殿に奉られているカラタガマ神のページで鼓動が速くなるのを感じる。冒頭の、善き願いばかりでなく悪しき願いも叶える、という一文が頭から離れない。美津紀は、何かに呼ばれたような感じがして、夫の芳雄に友人と九州へ旅行に行くと言いついて、スリランカへひとり向かうのであった。

ひとりひとりが願う国内外の神さまを求めて旅する8つの短篇小説です。



「きみは悪口を言わない」 真下 みこと／著 光文社

小学3年生のあきは、お母さんが通学路に立つ見守り隊をしているため、学校へ行くのが憂鬱に感じていたある日、クラスの人気者達哉が学校の目の前で自転車に轢かれてしまう。見守り隊のお母さんがしっかり見ていなかったせいだと中傷を受け、お母さんは家から出られなくなり、あきもクラスで無視されて…。(一見守り隊見習い)

同じ小学校の同じクラスのあき、亜子、守、美紗都、翔吾の5人の視点でそれぞれの家庭問題、学校生活などの悩みや成長とともに描かれる連作5編。